

2026 年 9 月 18 日現在

2026 年度 若手研究者支援 2 次募集 よくある質問集

2 次募集では、応募者向け説明会はいりません。応募を検討する方は、募集要項、申請書、以下のよくある質問をご確認ください。個別の事情により判断が必要な場合は、申請前に事務局へお問い合わせください。

募集日程と提出先

項目	内容
支援区分	A 海外調査研究 B 国際学会発表
対象となる渡航期間	2026 年 9 月 1 日から 2027 年 2 月 26 日まで
応募期間	2026 年 9 月 25 日 9 時から 10 月 13 日 9 時まで
提出先	wakate-shien@cc.ocha.ac.jp
審査結果	2026 年 10 月 20 日ごろに申請者へメールで通知
採択者向け説明会	2026 年 10 月 23 日 12 時 30 分から 13 時 人間文化創成科学棟 604 室 採択者は出席必須(不可の場合は事前に欠席連絡を入れること)

制度と支援区分

Q1 どのような支援制度ですか

国際的に活躍する女性リーダーの育成を目的として、本学の若手研究者による海外調査研究または国際学会発表に必要な海外渡航費を支援する制度です。

Q2 A 海外調査研究と B 国際学会発表の違いは何ですか

A は海外の機関や現地で資料調査、実地調査、共同研究等を行う計画が対象です。B は国際学会等で申請者本人が研究発表を行う計画が対象です。研究計画の主目的に合う区分を選んでください。

Q3 国際学会発表では発表形式に制限がありますか

口頭発表、ポスター発表など、発表形式は問いません。また、個人およびグループ発表のいずれでも応募可能です。ただし、申請者本人が発表するものに限りです。

Q4 一人で複数の計画に応募できますか

応募は、1 区分につき一人一件です。A と B の両区分に同時に応募することは可能です。

応募資格

Q5 応募できるのはどのような人ですか

申請時に次のいずれかに該当する方が対象です。

- 本学大学院博士後期課程在籍者

- 本学特別研究員(みがかずば研究員)
- 本学基幹研究院研究員、リサーチ・フェロー等
- 大学院博士後期課程修了者(修了見込みを含む)または単位取得退学者で、申請時に本学に所属する者(非常勤講師、AA など)

Q6 常勤の職に就いていても応募できますか

応募できません。常勤の職にある方は、所属や職種にかかわらず対象外です。

Q7 日本学術振興会特別研究員や科研費の研究代表者は応募できますか

応募できません。日本学術振興会特別研究員、および科研費等の競争的資金の代表者は対象外です。

Q8 過去にこの支援を受けていても応募できますか

過去に若手研究者支援または学生海外調査研究で 3 回以上採択された方は応募できません。両区分(A および B)での採択回数を合算して確認してください。

Q9 T-COCOA の採択者も応募できますか

T-COCOA の採択者も応募できます。ただし、同じ渡航について本プログラム以外から渡航費の支援を受ける場合は対象外です。重複の有無を確認する場合がありますので、支援対象となる費目が異なる場合も、申請前に採択内容を事務局へお知らせください。

Q10 ほかの学内支援と併用できますか

同じ学会発表または海外調査研究について、学内公募の別制度から渡航費の支援を受けている方は対象外です。滞在費など別の費目に対する支援を受ける場合は、制度名、支援対象、金額を示して事前にご相談ください。

対象期間と研究計画

Q11 いつの渡航が対象ですか

2026 年 9 月 1 日出発、2027 年 2 月 26 日までに帰国する渡航が対象です。出国日と帰国日を正確に記入してください。

Q12 応募時点で日程や訪問先が確定していなくても申請できますか

審査では、渡航時期、場所、実施内容、必要性を具体的に確認します。申請時点でできる限り計画を確定し、A では日本国内の調査では実施できない理由も記載してください。B では国際学会発表の採択通知や受入確認、倫理審査等を待っている事項がある場合は、その状況を明記したうえで、事前に事務局へご相談ください。

Q13 国際学会の採択通知がまだ届いていない場合は応募できますか

発表申込みの状況、採否通知予定日、渡航計画を示し、応募前に事務局へ確認してください。

申請書の作成

Q14 どの書類を提出しますか

申請区分に対応する所定の申請書を 1 通提出してください。A は海外調査研究申請書、B は国際学会発表申請書です。いずれも受入教員または指導教員等の推薦を含む A4 判全 4 ページです。

Q15 指定の 4 ページを超えてもよいですか

指定枚数を超えて記述すると、審査の対象にならない場合があります。ページの追加や別紙の添付はせず、所定の様式とページ数を守ってください。

Q16 文字サイズを変更してもよいですか

申請書で指定されているポイントを使用してください。欄に収めるために文字を小さくすることは避け、内容を整理して 4 ページ以内にまとめてください。

Q17 海外調査研究の計画はどの程度具体的に書く必要がありますか

時間、場所、内容、理由を分け、年月日、訪問先、実施する調査や使用する資料名まで具体的に記入してください。研究目的、調査の必要性、今回どこまで明らかにするのか、研究の特色や独創性、意義も記載します。

Q18 研究業績は何件まで書けますか

主要な業績を、新しいものから記載してください。論文や学会発表に記載された順番で著者全員の氏名を記入し、著者が多い場合は申請書の指示に従って最大 5 名程度まで記載してください。単著や単独発表の場合も申請者名を記載します。

Q19 推薦欄は誰に依頼しますか

受入教員、指導教員、またはそれに代わる教員に依頼してください。推薦欄には、海外調査研究または国際学会発表の必要性等を記入していただきます。

Q20 推薦者の署名は電子入力でもよいですか

Word ファイルへの入力、電子署名、または印刷して署名した後にスキャンする方法が利用できます。いずれの場合も、推薦内容と推薦者名が明確に確認できる状態で提出してください。

Q21 履歴書には何を記載しますか

学歴は高等学校卒業以降を記載し、職歴、受賞、研究費の獲得状況も記入してください。

Q22 申請後に計画を変更できますか

申請した内容の変更は原則として認められません。日程、訪問先、発着地などに変更の可能性が生じた場合は、航空券の変更や予約を行う前に、必ず事務局へ相談してください。変更内容によっては再審査となり、承認されない場合や支援を受けられない場合があります。

提出方法

Q23 応募期間と提出方法を教えてください

応募期間は 2026 年 9 月 25 日 9 時から 10 月 13 日 9 時までです。所定の申請書に必要事項を記入し、ワードファイルおよび PDF(パスワードを設定)の 2 点を添付のうえ、メールにて若手研究者支援事務局へ提出してください。締切後の提出は受け付けません。パスワードは、応募書類送付とは別のメールにして事務局に通知してください。

Q24 提出メールの宛先と CC はどうしますか

宛先は wakate-shien@cc.ocha.ac.jp です。CC には応募者本人のメールアドレスを入れてください。送信後は、CC に届いたメールで添付ファイルと送信日時を確認してください。

Q25 メールにファイルを添付できない場合はどうしますか

締切より前に IGL 事務局へ電話またはメールで連絡してください。事務局に応募書類を持参することが可能です。その場合は事前に開室曜日・時間を事務局に確認してください。

支援対象経費・その他

Q26 どの経費が支援対象ですか

本プログラムは海外渡航費(往復)を支援します。申請書の海外渡航費欄には、申請額、渡航費、日程、航空会社、往復の発着地と乗換地を記入してください。

Q27 申請額の全額が支給されますか

採択された場合でも、申請額の全額が支給されるとは限りません。審査結果等により支給額が調整される場合があります。

Q28 海外旅行保険の費用は支援対象ですか

保険料は本プログラムの支援対象ではありませんが、海外旅行保険には必ず加入してください。補償内容は、大学の最新の海外渡航に関する案内を確認してください。

Q29 航空券を家族名義のクレジットカードで購入できますか

航空券をクレジットカードで購入する際は、原則、申請者本人名義のカードを使用してください。

Q30 航空券関係の書類で注意することはありますか

領収書は、旅行者である申請者の氏名と、運賃、税金、サーチャージ等の内訳が確認できるものを取得してください。支払者名が表示されない場合は、追加の支払証明書類が必要となることがあります。

Q31 本学の非常勤職員としての出勤日と旅行期間が重なる場合はどうしますか

旅行期間に出勤日が重なる場合は、給与や欠勤の手続きが必要になることがあります。事前に学務課等の担当部署へ確認し、必要な手続きを行ってください。

審査結果と問い合わせ

Q32 審査結果はいつ通知されますか

2026年10月20日ごろに、申請書に記載したメールアドレス宛てに通知します。選考結果の理由や審査内容に関する問い合わせには回答できません。

Q33 応募前の質問はどこへ連絡しますか

グローバルリーダーシップ研究所 若手研究者支援事務局(wakate-shien@cc.ocha.ac.jp)へメールでお問い合わせください。個別事情に関する質問では、所属と身分、申請区分、渡航予定、併用する可能性のある支援制度名を記載すると確認が円滑です。